

DNA シークエンス受託解析－ABI ジェネティックアナライザ 3130 での解析

このたび、ABI ジェネティックアナライザ 3130 が導入されたのに伴い、下記の要領でシーケンシングの受託解析を受付けます。

記

ADRES（樽味）管理室まで、シーケンス反応終了後の処理済みのサンプルを **14 時まで** に持ってきてください。センタースタッフに以下の事項をメール（kobayasi@agr.ehime-u.ac.jp）するか、直接伝えてください。

サンプルはスタッフが専用プレートに分注します。マイクロチューブ等にいったものをお渡しください。310 用の専用チューブに入れ替える必要はありません。

- ・所属および指導教官
- ・依頼者名
- ・サンプル名と数量（チューブにサンプル名を明記：できるだけ簡単な記号や数字で）
- ・BigDye のバージョン（Ver.1.1 か Ver.3.1 か；Ver.3.1 推奨）
- ・希望する解析時間（Fast か Standard か）

その他、以下の注意事項をよくよんでご依頼ください。

わからないことがありましたら、ADRES（樽味）スタッフにお尋ねください。

1) ABI ジェネティックアナライザ 3130 の解析は

Standard：2 時間の解析で 4 サンプル同時解析、700～850bp 解析可能。

Fast：1 時間の解析で 4 サンプル同時解析、600～700bp 解析可能

2) BigDye Cycle Sequencing Kit ver.3.1 推奨。

3) BigDye ReactionMix は専用の希釈液にて 4 倍以上希釈し反応を行ってください。濃度が高いとキャピラリーの寿命が短くなり、その後のサンプルの解析に悪影響が出ます。

4) サイクルシーケンス反応終了後、アプライドバイオシステムズジャパンの推奨するプロトコルに従って蛍光色素除去を行ってください。エタチンメイト等の沈殿補助剤は使用しないでください。

5) シークエンスサンプルを、HiDi Formamid 15 μ l に溶解し、加熱急冷した後、マイクロチューブに置いて ADRES(樽味)管理室へ渡してください。サンプルプレートへの分注は、スタッフが行います。

6) アドレスを覚えてもらえればメールでファイルを送ることができます。記録メディアをサンプルと一緒に持ってきてもらえばシーケンスファイルとグラフィックファイルを記録してお返しできます。フラッシュメモリ、CD-RW、DVD-RW、が使用できます。プリントアウトのサービスは 3130 の解析では行いません。

7) フリーのソフトウェア (Chromas Lite: http://technelysium.com.au/?page_id=13 など) を自身のパソコンにダウンロードして使用ください。解析結果を表示することができません。再解析はできません。

以上

ReactionMix の希釈

希釈は専用の ABI 5X Sequencing Buffer など市販品をお使いください。下記のようなバ

ッファーを使って希釈することもできますが、結果を保証するものではありません。H₂Oでの希釈では長いシーケンス解析はできません。

80mM Tris-HCl(pH9)-2 mM MgCl₂

ReactionMix 8 μ l 加えるところを減らした分だけ加える。ReactionMix を 1 μ l (8 倍希釈) なら 7 μ l 加える。

ABI ジェネティックアナライザ **3130** 解析依頼シート

依頼日	年 月 日	備考
所属		
指導教官名		
依頼者名		
サンプル数量	個	
サンプル名		
BigDye のバージョンと 希望する解析機種・解析時間	☐ 3130 解析－Ver.3.1・Fast ☐ 3130 解析－Ver.3.1・Standard ☐ 3130 解析－Ver.1.1・Fast ☐ 3130 解析－Ver.1.1・Standard	Fast : ～700 Standard : ～850

ABI ジェネティックアナライザ **3130** 解析依頼シート

依頼日	年 月 日	備考
所属		
指導教官名		
依頼者名		
サンプル数量	個	
サンプル名		
BigDye のバージョンと 希望する解析機種・解析時間	☐ 3130 解析－Ver.3.1・Fast ☐ 3130 解析－Ver.3.1・Standard ☐ 3130 解析－Ver.1.1・Fast ☐ 3130 解析－Ver.1.1・Standard	Fast : ～700 Standard : ～850